

矢小だより

第27号

令和8年10月8日
由利本荘市立矢島小学校

前期が終了

本日、前期の終業式を行いました。4月からの半年間、保護者の皆様、地域の皆様には、様々な場面で学校を支えていただき、誠にありがとうございました。

さて、学校には、日々の授業や行事等において、子どもたち自身による「振り返り」の場面があります。活動を通して、「できたこと」「分かったこと」「がんばったこと」「できなかったけれど努力したこと」「過程の様子」「友達のよさ」「次に生かせそうなこと」「課題やもっとがんばりたいこと」など、いろいろなものを含んでいます。学校では、子どもたちが自らの学びを自覚したり、学びをつないだり、自身の学び方を調整したりするという点から、振り返りを効果的で大切な活動として位置付け、日常的に取り入れています。

本日、子どもたちは学級担任より通知票を受け取りました。保護者の皆様には、ぜひ一緒にご覧になっていただき、「振り返り」の場を共有してみてはいかがでしょうか。そして、子どもたちのがんばりを積極的に認めながら、前向きになれる言葉掛けをお願いいたします。自分自身を振り返る時間が、新たに迎える後期に向けて期待を高めることにつながるとすれば、とても素晴らしいことだと思います。

13日（火）に元気に再会できることを楽しみにしています。

モーモースクール！

秋田県牛乳普及協会の関係者の皆さん、新林牧場の柴田睦さんをはじめ、たくさんの方をお迎えして、「わくわくモーモースクール」が開催され、3年生と4年生の子どもたちが参加しました。バター作りでは牛乳が入った容器を一生懸命振り、完成したバターをクラッカーに塗っておいしそうに食べていました。搾乳体験では上手に搾る子どもが多く、ほめていただきました。授乳体験では、子牛がごくごく飲む姿を見て、「かわいい！」と歓声を上げていました。また、聴診器を通して聞こえてくる子牛の心臓の音に耳を澄ます姿も見られました。命のつながりなど、大切なことについて気付いたり考えたりする貴重な機会となりました。



酒蔵見学に行きました！

3年生の子どもたちが酒蔵見学に出かけました。子どもたちは、興味深そうに施設を見学しながら、酒造りの工程などに関する説明にしっかりと耳を傾けていました。そして、たくさんの質問をしながら、がんばってメモをとっていました。見学を通して教えていただいたことを基に知識を広げ、学習を深めることができたことでしょう。矢島小の子どもたちは地域から学ぶ機会がたくさんあります。ご協力いただいている皆様に、心より感謝申し上げます。



☆前期終業式での「前期の振り返りと後期がんばりたいこと」の発表を紹介します。

前期の振り返りと後期にがんばりたいこと

3年 三浦 **

わたしが、3年生の前期に一番がんばったことは、算数のあまりのあるわり算です。はじめは、やり方が分からず、まちがいがたくさんありました。でも、できるようになりたいくて、お母さんに教えてもらいながら、何度もれん習しました。すると、ほとんどまちがえずに、問題をとけるようになりました。

3年生になって、学習する教科がふえました。その中でも、理科と社会をがんばりました。理科では、風の強さをかえると、進むきょりがどうかわるのかを実験しました。社会では、スーパーマーケットへ見学に行き、商品がどのようにならんでいるのかを知ることができました。少しむずかしい勉強もありましたが、分かるとうれしかったです。

勉強のほかに、あいさつもがんばりました。校長先生に、自分から大きな声で、元気にあいさつをしました。ときどき、校長先生から「いいあいさつだね」とほめてもらいました。そのときは、とてもうれしかったです。

後期にがんばりたいことは、勉強とあいさつです。勉強は、これからもっとむずかしくなると思います。習ったことを家てい学習でふく習して、しっかり身につけたいです。先生やお客さんに、自分から大きな声であいさつをしたいです。あいさつをすると、みんないい気持ちになります。後期も、元気なあいさつをつづけていきたいです。

前期に頑張ったことと後期に頑張りたいこと

6年 伊東 **

ぼくは、6年生になることが不安でした。わけは、たくさんの学校行事で6年生が先頭に立って進めなければならないからです。例えば4月には運動会。9月にはひまわりフェスタがあります。去年の6年生はどんな行事でも一人一人が自信をもって行動していたので、ぼくもそんなふうになれるのか心配でした。もう一つは、勉強です。ぼくは、算数が少し苦手です。6年生になると算数だけではなく、たくさんの教科が難しくなるので、それについていけるかが不安でした。

そこで僕は、4月になってこれらの不安を解消できるよう目標を立てました。生活面では、どんな事にも自分から気づき、考え、行動できる6年生になるということです。言われた事だけをやっているのでは全校を引っ張ることができないので、言われる前に自分から行動できるようにしたいと考えました。そのために、毎日の無言清掃ではすみずみまで目をくばり、気付き清掃でより学校をきれいにできるようにがんばろうと思いました。学習面では、算数をはじめとした苦手な教科に積極的に挑戦することです。与えられた宿題の他にも、自主学習で苦手な教科の勉強に自分から挑戦することをがんばろうと思いました。

前期を過ごして思い出に残っているのは、運動会です。全校を引っ張る初めての大きな行事でした。僕は、青組の団長として青組の全員が一つになるために応援合戦の内容を考えたり、ふりつけを丁寧に教えたりすることをがんばりました。また、運動会の閉会宣言や団長の振り返りで全校の前に立つ場面を経験しました。とても緊張したけど、全校のみんなに思いを届けるために、大きな声でしゃべることや間の取り方を意識して話すことの大切さを学びました。

次は、ひまわりフェスタです。ひまわりフェスタでは自分を大きく成長させてくれたひまわりや地域の方々に感謝の気持ちを伝えたいという気持ちで取り組みました。だから、交流ゲームは矢島が一つになることができるように、みんなで協力し達成感を味わえるゲーム作りを心がけました。本番では全校の前で話すだけではなく、自分たちで作った交流ゲームに遊びに来た人たちにルールを説明したり、案内をしたりしました。忙しくて焦ってしまう場面もあったけど、笑顔で遊んでいる人たちがたくさんいたのでうれしかったです。そこで大きな声で伝えることも大事ですが、相手の目を見て、相手を思いやって行動することの大切さを学びました。そして、算数をはじめとした学習面でも、一人勉強ノートで毎日苦手を克服しようと努力してきたことや授業中に進んで発表してきたことで、テストの点数が少しずつ上がってきました。

後期には、学習発表会やひまわり商品販売があります。前期で学んだことを生かしてどんなところでも自分の声が届くような大きな声で、伝わりやすいように間の取り方を考えることやお客さんのことを第一に考えて接客ができるようにがんばりたいです。また、学習面では、これまで学習したことを思い出して苦手な学習を一つでも多く克服できるように復習する範囲を広げて学力を身に付けられるようにがんばりたいです。